

Q. 日立ハイテクフィールドイングって、どんな会社？

01 ハイテク製品専門の技術サービス会社。



お客様、また社会の抱える課題・ニーズに対し、絶えず新たな価値を創出し続けることで、社会の発展に貢献する日立グループ。
私たちは、その日立グループの中でハイテク製品に特化した技術サービス会社です。「ユーザーであるお客様のことをよく理解し、お客様のニーズをくみ取ってお応えるプロフェッショナルが必要不可欠」との考えから1965年に生まれた技術サービス会社が、日立ハイテクフィールドイングなのです。



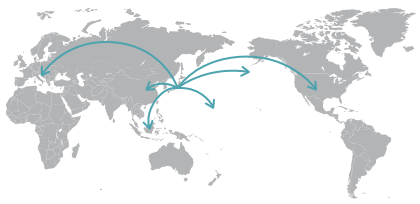
02 実は、最先端の研究開発や、人々の暮らし・生命を守る場面に関わっています。

日立ハイテクフィールドイングの使命は、お客様が使用される装置の安定稼働を守るだけでなく、お客様のビジネスや研究がさらに加速するような技術サービスを提供すること。半導体工場では「半導体製造・評価装置」、研究所では「電子顕微鏡」、医療現場では「医用機器」など、さまざまな領域に不可欠な装置の性能を最大限に引き出す調整や、お客様一人ひとりのニーズに合わせた技術サービスの提案、技術コンサルタントを行なっています。



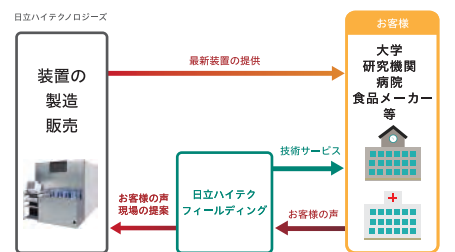
03 国内40拠点から、さらには海外まで。世界中のお客様をサポート。

お客様のお困り事に迅速かつ臨機応変に対応するべく、北は北海道から南は沖縄まで、国内40カ所に拠点を設けています。さらに、欧米や台湾、韓国、シンガポールなどにも当社のサービスエンジニアが出張・駐在し、世界各地で活躍しています。



装置を生み出すメーカー（日立ハイテクノロジーズ）と、装置をお使いになるお客様をつなぐ「架け橋」となる。それが、日立ハイテクフィールドイングの役割でもあります。

お客様の「生の声」を聞き出し、設計・製造側へ伝える。さらに、サービスエンジニア自身が発見した課題を製造現場にフィードバックする。お客様に最も近い立場だからこそ、メーカーの次世代装置の開発に貢献ができます。



04 お客様の声と現場の提案が次世代装置開発の「種」に！



05 機械マニア&回路マニアよ、集まれ!? 普段見ることができない最先端装置に触れられるのが、サービスエンジニアの醍醐味。

日立ハイテクフィールドイングのサービスエンジニア達は、お客様のニーズにお応えするために、日々お客様先を駆け巡っています。先端領域を支えている、最先端の装置に触れられるということは、常に最先端技術を身に付けられる環境にあるということ。装置のプロフェッショナルとして技術を磨き、社会に貢献できる仕事です。



半導体製造装置

微細化が進む半導体製造の工程で重要な役割を担う装置。高精度かつ複雑化するプロセスに対応し、半導体デバイスの開発から製造、品質管理までを支えています。国内外を問わず、主要半導体メーカーなどで使用されています。



半導体評価装置



医用機器

血清や尿に含まれる成分を自動で分析する装置。全国各地の病院や検査センターなどで使用されています。



分析装置

アミノ酸の分析や水中の重金属測定など、物質の定性・定量分析を行う装置。薬品や食品の品質管理、理化学分野での基礎研究などで使用されています。



電子顕微鏡

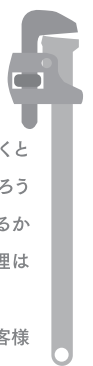
動物物の細胞、細菌・ウイルスから半導体デバイスや材料まで、さまざまな物質をナノメートルレベルで観察する装置。新薬メーカーや大学、薬品メーカーの研究施設などで使用されています。



計測制御システム

温度・湿度をはじめ、圧力や流量などを自動で監視制御するシステム。メーカーの製造プラントや人々の生活に欠かせないライフラインを守っています。

06 ひとつにはくれない。だからこそ、面白い。



「サービスエンジニア」と聞くと修理がメインの仕事なのだろうかと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、修理はあくまでの業務の一部。

最適・最良の状態でご使用いただくために、装置の予防保全計画やお客様のお困り事を解決するための提案活動、お客様がビジネス・研究でよりよい成果を上げられるための運用支援、そしてメーカーへのフィードバックなど、業務は多岐にわたります。奥深く、知れば知るほど面白い仕事です。

装置に関する知識や技術を持っているだけではサービスエンジニアの仕事は務まりません。お客様を深く理解し、信頼関係を築き、お客様自身ですら気づいていない課題をみつけ、解決へと導いていく。それを実現するために、私たちは半歩先を見据えたコミュニケーションでお客様に寄り添い、共に成長するパートナーでありたいと思っています。



07 お客様の“半歩先”を走り続けることで、なくてはならない存在に。



Q. サービスエンジニアって、どんな職業？